

ウイルス、どうやってうつる？

ウイルスは、感染している人の咳やくしゃみ、会話の際のしぶき(飛沫)と共に飛び散ります。また、鼻水の中にも多く存在しています。ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ることによって感染しますので、感染予防として、手洗い・うがいがとても大切です。うがいができないお子さんは、口や鼻の周りを拭いてあげるだけでも予防になるそうです。

正しい手洗いしていますか？

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、石けんをしっかり泡立てて、洗い流しましょう！



吐いた！

しっかり消毒、ゴミは密封して捨てましょう

吐いたものには、ウイルスが含まれている可能性があります。きちんと消毒をして、家庭内感染を防ぎましょう！

1 処理に必要なものを準備する

まず、換気します。消毒液やペーパータオル、布や雑巾(捨てられるもの)を用意し、使い捨ての手袋やマスクをつけます。

消毒液の作り方

家庭用塩素系消毒薬



6%の原液の場合、ペットボトルのキャップ4杯



水 1L

2 外から中心に向かってふき取る

吐いたものはペーパータオルなどで外から内側に向かってふき取り、ゴミはポリ袋に二重に密封して捨てます。

汚れた衣類は……

汚れを取り除いて消毒液につけておきましょう。



3 消毒した後、水ぶきする

吐いたもので汚れたところを、消毒液を浸した布で外側から中心に向かってふき取ります。その後、水ぶきで消毒薬もふき取ります。

4 よく手を洗う

使い捨ての手袋やマスクもポリ袋に密封して捨て、手をよく洗いましょう。